

**オンライン
接続イメージ**



<p>A. 全体会 (Zoom) 参加者全員が全体会ホストに接続します。</p> <p>全体会ホスト (進行) 県内参加者 県外参加者</p>	<p>B. エリア (Zoom) 【賀茂・東部・中部・西部】 市町が属するエリアのエリアホストに接続します。</p> <p>エリアホスト (県災害V本部の市町支援チーム) 県内参加者 県外参加者</p>	<p>C. 市町 (Zoom、その他) 県内参加者は住んでいる市町の市町ホストに接続します。県外参加者は申込時に市町を選択していただきます。</p> <p>市町ホスト (各市町) 県内参加者 県外参加者</p>
--	--	--

今回の図上訓練は、新型コロナウイルス感染症等の対策やより実災害に近い状況で訓練を実施するため、オンラインにて開催いたします。

各セッションは参加者全体で行う「A.全体会」、静岡県賀茂地区・東部地区・中部地区・西部地区でワークを行う「B.エリア」、各市町単位でワークを行う「C.市町」の3つに分けられます。セッションによって、つなぎ先の変更をお願いいたします。

なお全体会、エリアはオンラインツールにzoomを使用しますが、市町においてはTeams等その他のツールを使用する場合があります。

前回参加者の声

- ◆困り事の内容が、あり得ることばかりで、自団体がなにができるか考え直すことができた。また、さまざまな団体の活動内容を知ることができたため、支援先が広がり、とても為になりました。
- ◆自分の団体が活動できる限界を知ることができ、また同時にほかの団体や地域の人たちと協力を深く知ることができました。
- ◆行政も、自分たちにできることはここまで、と考えがちのため、もっと視野を広げるべきと感じました。
- ◆初めて図上訓練に参加しましたが、同じグループの人たちだけでもこんなに沢山のネットワークをもっている人がいるのだと知りました。これから沢山の団体の方と顔の見える関係を築いていきたいと思います。
- ◆他組織・機関との連携の必要性を強く感じました。日ごろの訓練で連携する組織等にも声掛けし、実施できれば良いと思えます。

<お問い合わせ>

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館2階
TEL : 054-255-7357 FAX : 054-254-5208 E-mail : evolnt@mail.chabashira.co.jp

オン (Web) ★ オフ (リアル) で ONE SHIZUOKA!!

~ I (わたし) + You (あなた) ⇒ We (わたしたち / ONE SHIZUOKA) ~



第16回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練

参加者募集

令和3 (2021) 年 12月17日 (金)、18日 (土)

被災者・被災地には多様な困りごとがあります。自分たち (I) の普段の役割だけでは解決できない (対応がむずかしい) ことも、他者 (You) が関わることで、できるようになることもあります。
第16回の訓練では、同じ市や町で活動する方々とともに課題解決に取り組むことを通して、同じ支援者 (We) であるという認識を深めることを目指します。

- 主催：特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会
- 共催：静岡県、社会福祉法人静岡県社会福祉協議会・市町社会福祉協議会
南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会
- 協力：一般社団法人静岡県労働者福祉協議会、公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会、連合静岡、静岡県労働金庫、こくみん共済coop<全労済>静岡推進本部
- 実施主体：第16回図上訓練ワーキンググループ

ご案内

令和3年7月1日からの大雨により、静岡県東部地域で浸水被害が発生しました。また熱海市伊豆山地区では大規模な土石流が発生し、現在復旧・復興が少しずつ進められています。被災地域では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、県域を超える地域からの支援を得づらい状況となっています。今後、再び自然災害に襲われることがあれば、今回と同じような状況になることが考えられます。


そこで、県外からの支援だけに頼るのではなく、改めて自らの地域を見直すための訓練（ワークショップ）を開催します。今回は、新型コロナウイルス等の感染症対応として、オンラインツール（Zoom等）を活用した訓練を行います。

日程・内容

1日目		2日目	
午前	県内ーオンライン接続テスト	9:00	ミーティングルーム開設
	県外ー11:00～11:45 訓練前レクチャー（参加必須）	9:30	オリエンテーション 1日目のふりかえり
13:00	開会・オリエンテーション	9:45	セッション2 「エリアごとに情報を共有し、 他市町のことわかる」 県内を4つの広域エリアに分け、 セッション1で確認した内容をそれぞれ 共有し、他市町の取り組み等を学びます。
13:30	本訓練の目的や県内の取り組み共有 2日間のプログラムの目的や関連する 情報を理解・共有します。 ◇本訓練の目的共有（今回のねらい） ◇静岡県の災害に備えた取り組み ◇静岡県災害ボランティア本部・情報 センターの取り組みと事例紹介	12:30	昼食・休憩
14:30	セッション1 「自分たちでできること、自分たち だけではできないことがわかる」 県内の市町ごとにグループをつくり、 ワークを通して災害時に起こる多様な 困りごとに対して自分たちでできること、 できないことを考え、今のままでは解決 できない困りごとがあることを再認識し ます。 また、事例提供から地域には多様な主体 があることを知り、連携することで解決 できる（関わるができる）困りごと があることを学びます。	13:30	セッション3 「現状では解決できないことも 災害が起こる前に取り組むことで 解決可能になる」 セッション2での気づきを踏まえ、 セッション1において自分たちだけでは 解決できなかった困りごとを解決する ためには、平時から何をすればよいか 考えます。
		15:30	クロージング
17:00	事務連絡・1日目終了	16:30	訓練終了

※訓練の内容や時間は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

募集要項

開催日時	令和3（2021）年 12月17日（金）13:00～17:00、12月18日（土）9:30～16:30 ※ただし、県外参加者は1日目11:00～オリエンテーションがあります（参加必須）。
会場	オンライン（途中、つなぎ先の切り替えをお願いいたします。）
対象者	①被災地支援に取り組んだ団体・組織 ②災害時のボランティア活動や防災について、日ごろから取り組んでいる団体・組織 ③災害時の対応などに興味、関心がある団体・組織 ④静岡県が被災した際、支援に入ること考えている団体・組織 これまでの参加団体例 行政機関および公的組織、大学生（学生サークル等）、士業団体（行政書士会等）、企業・業界団体、労働組合・協同組合、青年会議所、日本赤十字社、市民活動団体（NPO・NGO）、ボランティア団体、中間支援組織、当事者団体、自主防災組織、自治会・町内会、民生委員・児童委員協議会、社会福祉協議会等 ◆訓練成果を所属団体へフィードバックしていただくため、個人での参加は受付できません。
参加条件	2日間の参加を原則とします。 オンラインツール（Zoom等）の操作が可能な方に限ります。 ※通信環境は各自でご用意ください。
参加のしかた	オンライン参加（Zoom等）※1名1デバイス（端末）での参加をお願いいたします。 ※セッションによっては、Zoom以外のオンラインツールを併用する場合があります。 ※参加型の訓練になります。できるだけビデオをオンにしてご参加ください。
定員	400名（県内：300名、県外100名程度を想定） ※幅広い団体からの参加を得られるよう、調整させていただく場合があります。
参加費	1名につき1,000円 ※印刷された資料が必要な方は、印刷・送料として、別途1,000円で郵送いたします。 ※事前振込み（郵便振替）となります。詳しくは、参加のご案内とあわせて受付締切後にメールでお知らせいたします。
申込方法	静岡県ボランティア協会のホームページにリンクされている「第16回図上訓練参加申込み」からお申し込みください。 ※申込みはwebのみとなります。あらかじめご了承ください。 静岡県ボランティア協会ホームページ https://shizuvol.jp/ 
受付期間	2021年9月22日（水）～2021年11月8日（月） 締切日以降の受付はできませんのでご注意ください。
事前課題	県内外：Zoomでの会議に参加できるよう確認してください。 県内：市町ごとに使用するミーティングツールの接続テストを行いますのでご参加ください。 県内外いずれも詳細は、参加のご案内とあわせてお知らせいたします。
その他	締切後に参加のご案内をメールでお送りいたします。2021年11月19日（金）までに案内が届かない場合は静岡県ボランティア協会までお知らせください。